



ブラジリアの風

Vento de Brasília

ご献金の感謝

＊前回レターでは10月分のみ報告で、8,9月分が完全に抜け落ちていました。大変失礼いたしました。お詫びと共にご報告いたします。

献金者一覧 (2017年8,9,11-12月)
相馬キリスト福音教会、鳥取聖書教会、町田南キリスト教会、追浜聖書教会、矢作キリスト教会、朝霞聖書教会、神尾鋼行、青葉キリスト教会、松戸福音教会、波崎キリスト教会、浜田良夫、学園前聖書教会、蛭池聖書教会、安城中央キリスト教会、総和キリスト教会、新津福音キリスト教会、播磨キリスト教会、平出朋美、衣笠中央キリスト教会、招待キリスト教会、松原聖書教会、鞭木由行、知立キリスト教会、千葉キリスト教会、恋が窪キリスト教会、愛宕山教会、生駒めぐみ教会、光の森聖書教会、原町キリスト教会 (敬称略)

268,000円 (8-9月)

630,322円 (11-12月)

■ 2017年 宣教師指定献金 合計
2,378,178円 (達成率: 120%)
(別途ブラジル指定: 36,000円)

＊祈りと支援の輪が広がり、目標額200万円が満たされたことを心より感謝いたします。祈りつつ捧げてくださった教会、主にある兄弟姉妹に主の祝福が豊かにありますように。

2018年の目標額

浜田宣教師指定: 320万円

教育費の必要が年々増えています。特にブラジリアの私立学校授業料は毎年15%ほどアップします。保険外の歯科治療費等の必要も大きいです。教団の国外宣教委員会の会計が逼迫していることも合わせてご理解と引き続きのご支援をお願い申し上げます。



2018年もよろしくお願い申し上げます

いつも私たちを祈り支えてくださっている皆様、遅ればせながら新年のご挨拶を申し上げます。本年も隔月で「ブラジリアの風」をお届けしたいと思います。地球の反対側から南米宣教の風を少しでも感じ取っていただけたら幸いです。ここ首都ブラジリアは極端な水不足が続き、12月中旬にはダムの貯水量が15%を割っていましたが、その後、恵みの雨が降り注ぎ、2月現在、貯水量は40%台まで回復しています。息子たちは新学期がスタートし、新たな思いで勉学に励んでいます。間もなくブラジル全土はカーニバルで華やぎますが、私たちは世の喧騒から逃れて山上のキャンプ場で主との交わりに勤しみます。6年目のブラジル宣教が主の御手によって導かれ、主の栄光を拝することができますようにお祈りください。

2018年2月6日 浜田献、陽子



エイジ(栄侍)くんのため に祈ってください！

昨年9月、私たちの親しい友人夫妻に与えられたエイジくんは、これまでに数回の呼吸停止があり、なお予断の許さない状況が続いています。私は「漢字」の名付け親として「栄える侍（サムライ）」を夫妻に送りましたが、今はただ主の癒しと回復を天を仰いで祈るばかりです。生後4ヶ月の幼子エイジくんの癒しと成長、ご両親のためにお祈りください。



現地版レターで証し！

今年は毎月、現地版レター「ブラジリアの風」を作成し、日系家族を中心に福音の証しに努めていきます。フリガナ入りの日本語版とポルトガル語版の両方で、私自身の信仰の証を中心に聖書の神様を宣べ伝えたいと願っています。「深みに漕ぎ出して網を下ろせ」との主イエスの御声をこのブラジリアでいかに聞き、具現化していくか。この地の隅々にまで福音が響き渡り、確かに行き届いているという実感が持てるまで宣教の模索は続きます。お祈りください。



アクシデント発生！😓

1月26日、4人の子どもたちの夏休みも終盤を迎えたこの日、朝からサッカーで汗を掻いた後、マンゴーでも採って帰ろうと公園の隅の林に向かった。サッカーボールを頭上高くに放ってマンゴーに当てて落とす。順調にいくつかをゲットし喜んでいたら矢先、突如、首筋にチカッと痛みが走った。次の瞬間、燃えるような痛みが耳から背中全体に廻り、目の前が真っ暗になった。その時メガネを落としたことにも気づかず「逃げろー」と叫びながら子どもたちと走り出していた。私は必死でTシャツを脱いで、背中に侵入した何かを払い落とそうと懸命だった。正体はマリンボンドという黒いハチ。投げたボールがハチの巣に見事命中落下し、逆襲を浴びてしまったのだ。長男はアゴに一箇所、次男は頭と首に三箇所、私は耳、首、腕、背中と計六箇所刺され、泣く泣く帰宅。殺菌効果のある梅肉エキスを患部に塗って午後は静かに休む。しばらく腫れとかゆみはあったものの、大事に至らずホッと一安心。教訓深い一日となった。



白いマンゴーのようにも見えるマリンボンドの巣

100歳の誕生日

100歳を迎えられた佐藤栄一さん。昨年2月に天に召された教会員の榎さんの元ご主人。隣町の日本人会館に300人ほどが集う盛大なパーティ。現役で自動車を運転する佐藤さんは足取りも軽く声にも張りがある。佐藤さんのお父様は「本門佛立宗」という仏教の一派をブラジルに持ち込んだ最初の人。佐藤さんはこれまで何度か教会の集会に足を運ばれたが、福音には固く心を閉ざし「わからない」と。それでもなお、聖書の福音を届けたいと、第一ヨハネ4章9節の御言葉を額に入れてプレゼントした。「恐れないで語り続けなさい」との主の御声が迫る。そういえば、私の祖父も昨年100歳を迎えた。それぞれの救いを今日も祈る。



日本同盟基督教団 ブラジル宣教師 浜田献、陽子／真理生、湧希、聖也、翔
住所：Av. Contorno, Bloco 1125, Casa 11, N.B.-DF, Brasília BRASIL CEP:71705-024
E-mail: kenyokomario@yahoo.co.jp 第二期（2017.1月～2020.12月予定）